大学との両立がとても大変でしたが、一生に一度の成人式が楽しい思い出になるよう、実行委員のみんなと協力することができました。記念誌記事でも、動画作成など皆さんが見て楽しめるように工夫をして、自分にできることをしっかりこなせたので良かったです。

実行委員会は、みんな初めましての状態からのスタートでしたが、一つのものを作り上げる中で絆も生まれて、コミュニケーション能力も上がったと思います。この貴重な経験を活かして、ハタチというこれからの新たな一歩を歩むとともに、ハタチになっても羽目を外さず、楽しく過ごそうと思います！

蘆田 優里菜

記念誌制作では自分の好きなラーメン店を特集できて嬉しかったです。他のメンバーがおすすめるラーメンはどれも美味しそうで、行きたいなと思わせる内容でした。実行委員会には中々参加できないことが続き、とても申し訳ないと感じましたが、参加すればメンバーが優しく出迎えてくれて、とても良い仲間にも恵まれたと思います。二十歳の集いを最後まで楽しんでくださると嬉しいです。

池田 稔基

『20歳』あの頃はすごく大人な存在で、ずっと先のことだと感じていたけれど、あっという間にこの日を迎えました。

今しかできないことをやってみたい!という思いから実行委員に挑戦し、今日のために沢山の企画を考え、準備してきました。こんなに中心で携われるなんて思わず、とてもいい経験になりました。みなさんが式を楽しんでもらえていたら嬉しいです。

これからさらにみなさんの活躍が期待されますが、幼少期を一緒に過ごし、今日この会場に集まった思い出はかけがえのないものであると思います。私は、足立区で過ごした20年間、そして実行委員の経験を今後の糧にしていきたいです。

この日に向けて一緒に頑張ってきた実行委員のみんな、職員のみなさま、そして、共に過ごしてくれた仲間との出会いを大切にしたいです。ありがとうございました！

稲 景都

人生に一度しかない大切な式を実行委員と一から作る、また、全員納得できるまで意見を言い合える体験は、不安もありましたが、それ以上に達成感や責任感など様々な感覚を学ぶことができ、貴重な時間を過ごすことができました。

皆様にとって今回の成人式が、楽しい式典になりましたら幸いです。どうぞこの先の人生も自分に自信を持って彩り豊かな人生をお送りください。本日は式に参加していただきありがとうございました。

今石 舞美

5月から始まり、この編集後記を書くまで約半年の月日が流れました。リーダーとして、どのように個性豊かな実行委員をまとめ、みんなの力を最大限引き出せるかを考えていました。もちろん、今まで経験したことのないタスクの多さだったり、自分の力不足を感じたりするなど多くの苦悩がありましたが、記念誌記事を作成していく中で、お互い支え合い、チームとして良い方向に向かっていくと感じました。

実行委員の皆、実行委員に関わってくれた皆さん、ありがとうございます。式当日を想像して今から楽しみです。どうかこの二十歳の集いが皆さんの記憶に残るようなものになりますように。

沖崎 裕哉

まず最初に自分もですが、成人おめでとうございます！

人生に1回だけの成人式の実行委員になれて光栄です！僕は中学や高校では素の自分を出すのが苦手だったため、最初は不安でしたが、実行委員のみんなは積極性に溢れ、このイベントを成功させようとしていたので、自然と頑張ろうと思えました。

この記念誌をどう楽しんで読んでもらえるか、成人式をより良いイベントにするか、実行委員会ですくさん時間をかけて決めていくのが僕にはとても貴重でした。成人式と記念誌を楽しんでもらえたら嬉しいな。それだけでワクワクします。

実行委員会を通じて多くのことや普段はできないことが経験出来たので、実行委員をやってとても良かったと改めて感じました。この経験を糧にして、何が起こるか分からない現代社会を私らしく、誰かのためになれるような人になりたいです。

ダラダラと書いてしまいましたが、皆さんも自分にしかできないことを自分らしく、カッコいい大人になってください！

小高 颯太

実行委員としての活動を通して、多くの仲間と共に取り組んだ日々は、自分にとってとても貴重な経験になりました。特に記念誌の制作においては、文章やデザインの細部にまでこだわることの大切さを学び、チームでの協力の重要性を改めて感じました。完成した記念誌が、読んでくれる20歳の皆さんの思い出の一部になることを願っています。これからも、自分の成長を忘れず、未来に向けて一歩ずつ前進していきたいと思っています。ぜひ、皆さんも新しい一歩を踏み出してください。

佐藤 浩太

みなさんこんにちは！はじめましての人もいれば、中には久しぶりという人もいます（笑）。私はすっかりポスターのモデルになっている佐野祐太といいます。

まずはみなさん、このページまでじっくりと読んでいただきありがとうございます。この冊子、素直に言ってすごいですよね！？恩師のメッセージ、なんだか懐かしいですよね。もうハタチを迎えたのだなと思うと、時の流れはものすごいスピードです。

この20年間を振り返ってみると、新型コロナウイルスの影響は凄まじいものだったのではないのでしょうか。何気ない日常生活だったはずが、突然、これでもかというくらいの制限。苦しみ、悲しみ、つらみ、複雑な感情に押しつぶされそうになりながらも、今日の日を迎えることができました。そして、ここからまた新たなステージの幕開けです。支えてくれた方々への感謝を忘れず、ともに未来へ向けて進んでいきましょう！！

佐野 祐太

最後まで読んでいただきありがとうございます。

私たち実行委員は少しでも皆さんが楽しんだり懐かしんだりして貰えるよう頑張りました。私は給食のページを担当しましたが、給食作成は、今までに経験がなくものすごく楽しかったです。農園訪問は、足立区にこんなに大きな畑があることに驚き、様々な小松菜知識を教えてもらいとても楽しかったです。まだ読んでない人はぜひ読んでみてください！

実行委員をやってみて良かったです。

津田 航平

私達は18歳で成人を迎える初めての年代です。成人だけど20歳では無いというギャップが世間にも私たち自身にも少なからずあったと思います。自分は子供なのか大人なのか、そんな事を漠然と考えながら過ごしてきた方が多いのではないのでしょうか。

しかし、これからは明確に「大人」として対応される事が増えるはず。一生に一度の「二十歳の集い」を契機に新しい事に挑戦したり両親に日頃の感謝を伝えたり、普段は出来ないことをできるタイミングだと思っています。

実行委員の仕事は記念誌の作成や当日の運営等でした。同じ町で育った仲間たちと様々な活動に多角的な視点を持って取り組み、皆さんの人生における大切な1ページを作れた事が嬉しいです。みなさんの未来が明るく輝かしい物になる事を祈っています。

戸田 柊也

実行委員会での活動を振り返ると、多くの学びや成長の機会がありました。特に、何か物事を決める際にメンバーと一緒に意見を出し合い、時には意見の違いを調整しながら一つの目標に向かって進んだ経験は、とても貴重でした。

記念誌に関しても、多くの時間と労力をかけて一冊の形にまとめ上げる過程は、達成感のあるものでした。自分たちの活動の成果を目に見える形にできたのが大きな喜びです。

今後の決意としては、実行委員会で培ったリーダーシップやコミュニケーション能力をさらに高め、この先の大学生活や社会活動に活かすとともに、多くの人と協力し、共に目標を達成していく経験を積んでいきたいです。

中村 優斗

親に勧められて参加した実行委員会であり、最初はこのような大規模なものを企画できる未来が想像できていませんでした。しかし、実行委員のみんなと何度も会議を重ねて少しずつ形にしていくなかに、やりがいを感じ、実行委員をやって良かったと思えるようになりました。この経験を今後にしっかり活かしていきたいです。

ありがとうございました！

服部 日向大

実行委員会の経験は、私にとって貴重なものでした。全体の進行をスムーズに進めるためには、細かな準備が欠かせず、式当日の流れを一つひとつ丁寧に組み立てていく必要がありました。皆で協力し合いながら、段々と形になっていく様子を見て、深い感動と達成感を覚えました。

また、多くの人々と関わる中で、コミュニケーション能力やリーダーシップを磨くことができました。意見の相違がある中でも、全員が納得できる解決策を見つけるまで議論を重ねていった経験は、私にとって大きな学びとなりました。

この経験を糧に、今後もさらなる成長を目指していきたいと思います。最後に、実行委員のみんな、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

林 真緒

はじめまして！皆さんは今どんな気持ちですか？楽しみ！？ドキドキ！？不安？？皆さん様々な思いで成人式に臨んでいるかと思います。

私は今すごく楽しみの気持ちで一杯です！約半年間この日の為に16人で意見を出し合ってきました。今日が皆さんにとって最高の1日になっていたら嬉しいです。

足立区のおいしい給食の秘密が詰まった記念誌！それぞれが実際に足を運び見てきて特別な記事が出来上がりました！ぜひ目を通してくださいね！

私たちは18歳から成人を迎え、早くも成人3年目！これからの人生、楽しい事も、不安な事も辛い事も沢山の未来が待ち構えています。私も正直不安です。でも、東日本大震災や新型コロナウイルスに負けず今を楽しんで生きてきた私たちだからこそ魅せられる姿があると思います！私たちを育ててくださった全ての人を敬い、感謝しこれからの人生を楽しみましょう！御成人おめでとうございます！

原田 萌々子

初めまして、あるいはお久しぶりですかね？

いきなりですが、みなさんは“大人”になれていますか？僕は自信ないですね。20歳になる頃には勝手になるものだと思っていたのですが…。とにかく、大人のなり方がわからない僕は、なった時の自分が悔いることのないよう、目についた機会にただ挑戦する毎を送りたい。実行委員を希望したのもその願望の1つです。だから、記念誌を作るにしても当日の企画を考えるにしても、この成人式がいかに僕やみなさんの人生のバネとなれるかを考えていました。懐かしい過去、見えてきた未来、楽しかった今日。ほんの小さなことでいい。みなさんが今日感じたそれを、新しい一歩に繋げてください。それだけで僕は実行委員になって良かったと思えます。“大人”に近づく気がするのです。

ここを機に、再スタートしましょう。紙面越しの出会いですが、こんな綺麗事がお互い良い方向に導いてくれますように…。では、これからの人生も楽しんで！！

源口 士道

『二十歳(20歳)』という時間は一生に一度しか来ないという中、実行委員になったことで、自分の将来へ繋がるような経験等を積み上げる事が沢山出来たと実感しています。

同じ二十歳を迎える人全員に、自分たちだけの特別な日を作っていただき、思い出深い成人式になるように、私たち実行委員は長い時間をかけて様々な準備をしてきました。私もそうですが、皆さん全員が改めて「感謝」と「希望」を忘れずに、これからも悔いのない人生を共にそれぞれ歩んでいけたらなと願うばかりです。

まずは、ここまで育ててくれましたご両親、そして実行委員の関係者の方々や共に過ごしてきたメンバーたちに改めて感謝致します。本当にありがとうございました！！

いつか会う機会が沢山出来ればなと思います！成人式を迎えた今こそ、本当の人生のリスタート地点です。課題や困難等は沢山あるかと思いますが、“助け合う”事を1つ大事にして、何事にもポジティブに進み、その先の明るく輝かしい未来を全員で築き上げましょう！

山口 幸史朗